

湯之児に温泉療養所

水俣市も年度内に同病院患者その他マヒ患者を療養させるため工費八千万円で湯之児に温泉療養所を建てる。ベッド数は八十だが、

これについては玉井朗大教授や九大温泉治療学研究所でも「水俣病患者は神経系統の病気に似ており、脳出血の後遺症などは温泉で回復した例もあり、温泉そのものが排毒作用をするので効果的だ」

と昨年、水俣で語っており、水俣病患者の将来にも一途の「光り」がさしはじめた。

なお水俣病患者はさる二十八年暮れに発生していらい昨年十一月末、脳性小児マヒ患者十六人全部が水俣病と鑑定されてから合計百七人、うち三分の一が死んでいる。